

平成 28 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	芦屋大学経営教育学部バレエコース	職名	非常勤講師	助成金額	200,000 円
氏名	苫野 美亜	メール アドレス	mia802jp@yahoo.co.jp		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
コンテンポラリーダンスの普及と横浜のアートの活性化を図る Dance Performance LIVE の実施					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>1. 活動の目的及び内容 [助成金を得たことで可能になった活動の目的及び内容等]</p> <p>「横浜に拠点を置く異なる分野のアーティストが、ジャンルを超えて集い、コンテンポラリーダンスを軸に活きたパフォーマンスを展開することにより、多様なアートを身近に接する機会を設け人々の興味を広く喚起することを目的とします。「観る」だけのパフォーマンスではなく、時間と空間を「体感」する新感覚な表現を 観客に提案します」企画当初、こちらを概要とし実践に移してまいりました。</p> <p>異なるジャンルとは、美術・植物、音楽、ダンス、料理といったそれぞれ独立した表現方法を、「食」というテーマの元に共有項を繋ぎ、ライブ形式で上演を致しました。</p> <p>これまで、音楽家や美術家との共演は数多くありましたが、より幅広いジャンルのアーティストと作品を創りあげることが可能になりました。</p>					
<p>2. 助成の成果及び結果 [1. の活動により得られた成果及び結果等]</p> <p>手応えを強く感じたのは、今までダンスを観たことがなかった方が、食を通してダンスを知るなど、これまであまり接点のなかった観客層に向け舞踊の魅力を上げられたと実感しています。</p> <p>象の鼻テラスという横浜の市民に開かれた場所での開催であった為、関係者以外の新規の来場も数多くありました。また、横浜を拠点に活動しているアーティスト同士の横の繋がりも相まって、広く公演情報が拡散され、目的の一つであった横浜のアート界隈の活性化に貢献できたように思います。</p>					
<p>3. 活動の自己評価及び今後の展望</p> <p>今回、自身も出演者であったが制作業務も同時に行わなければならず、その兼ね合いが難しかった。</p> <p>主催公演は 5 回目になるので経験値も増えたが、役割分担を明確にする必要性を感じた。</p> <p>関わる人数も多かったので、関係者同士の信頼関係、コミュニケーションを積極的に築いていくことを今後の反省にしたい。今後も、BankART のレジデンスプログラムをはじめ、横浜の文化交流に積極的に関わり、自身の活動の主軸であるアートを繋ぐプロジェクトを実施することにより、人々の生活に浸透した心の豊かさを提供する役割を担っていきたいと考えています。</p>					
来場者総数：133 名（招待：11 名） 総事業費：1,231,000 円					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 （著者・講演者）	発表課題名 （著書名・演題）	発表学術誌名 （著書発行所・講演学会）	学術誌発行年月 （著書発行年月・講演年月）		
苫野美亜	ヨコハマミーツアートプロジェクト Dance Performance LIVE #4 『Ruin Menu 廃墟の中の住人たち』	http://miatomano.wixsite.com/danceperformancelive	2017 年 1 月 28 日（土） 会場：象の鼻テラス （形態：公演）		